

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 2 月 24 日 (2005.2.24)

【公開番号】特開 2001-139682 (P2001-139682A)

【公開日】平成 13 年 5 月 22 日 (2001.5.22)

【出願番号】特願 平 11-322905

【国際特許分類第 7 版】

C 08 G 69/20

【F I】

C 08 G 69/20

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 3 月 23 日 (2004.3.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

- カプロラクタムをモノマーキャスト法で重合して得られるモノマーキャストナイロン樹脂において、ASTM D - 638 に準拠して測定された 23 における引張強度が 93 MPa 以上であり、且つ、110 における引張強度が 49 MPa 以上であることを特徴とするモノマーキャストナイロン樹脂。

【請求項 2】

樹脂の結晶化度が 55% 以上であることを特徴とする請求項 1 記載のモノマーキャストナイロン樹脂。

【請求項 3】

- カプロラクタムをモノマーキャスト法で重合し、得られた重合体を、室温から、2 ~ 15 時間で、160 ~ 200 まで加熱し、該温度にて 9 時間 ~ 15 時間保持し、次いで、3 ~ 30 時間で、室温まで冷却する後工程に付することを特徴とするモノマーキャストナイロン樹脂の製造方法。

【請求項 4】

- カプロラクタムのモノマーキャスト法による重合において、
- カプロラクタムと重合触媒との合計を 100 モル % として、0.15 ~ 0.5 モル % の重合触媒、及び、該重合触媒に対して 1 / 2 倍モル ~ 等モル量の単官能の重合助触媒、又は、該重合触媒に対して 1 / 4 ~ 1 / 2 倍モル量の 2 官能の重合助触媒を使用し、得られた重合体を、室温から、2 ~ 15 時間で、160 ~ 200 まで加熱し、該温度にて 3 ~ 5 時間保持し、次いで、3 ~ 30 時間で、室温まで冷却する後工程に付することを特徴とするモノマーキャストナイロン樹脂の製造方法。

【請求項 5】

後工程における保持温度が 165 ~ 175 であり、且つ、該温度で保持する時間が 1 ~ 2 時間であることを特徴とする請求項 4 記載の製造方法。